

製品名: CCR8 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86513

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:41 kDa; Observed MW:41 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCR8
別名	CY6; TER1; CCR-8; CKRL1; CDw198; CMKBR8; GPRCY6; CMKBRL2; CC-CKR-8
遺伝子 ID	1237
SwissProt ID	P51685
免疫原	ヒト CCR8 の合成ペプチド

背景

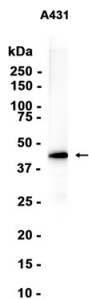
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体に類似した7つの膜貫通タンパク質であると予測される、βケモカイン受容体ファミリーのメ

ンバーをコードしています。ケモカインとその受容体は、様々な細胞種の炎症部位への遊走に重要です。この受容体タンパク質は主に胸腺で発現します。この受容体のリガンドとして、I-309、胸腺活性化制御性サイトカイン (TARC)、マクロファージ炎症性タンパク質-1 β (MIP-1 β) が同定されています。この受容体とそのリガンドの研究から、単球走化性および胸腺細胞のアポトーシスの制御における役割が示唆されています。より具体的には、この受容体は、抗原刺激部位およびリンパ組織の特殊領域における活性化 T 細胞の適切な配置に寄与している可能性があります。この遺伝子は、ケモカイン受容体遺伝子クラスター領域に位置しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



CCR8 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した A431 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。